

新型コロナウイルス感染症対策として

マスクの着用が推奨される場面とは

■周囲の方に感染を広げないために、マスクの着用を検討してください。



医療機関を受診する時



高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などへ訪問する時



通勤ラッシュ時など、混雑したバスや電車に乗車する時（当面の取扱い）
※おおむね全員の着席が可能であるもの（新幹線、高速バス、貸切バスなど）を除く



高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などの従事者が勤務する時

もしもまた感染が広まったら

●より強い感染対策を呼び掛けることがあります。



感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあります。

●自分を守るためにマスクが効果的です。



高齢者や妊婦、基礎疾患を有する方など、重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時は、感染から身を守るためにマスクの着用が効果的です。

マスクの着用について考えるうえで大切なこと

●個人の判断へのご配慮をお願いします。



マスクを外すことはもちろん、体調などを理由にマスクの着用を続けることも個人の判断が尊重されます。

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の事情や価値観へのご配慮をお願いします。

●子どものマスク着用について



子どものマスク着用については、健康面などへの影響が懸念されており、すこやかな発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要です。

特に2歳未満の乳幼児には、マスク着用は推奨されていません。

引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意をお願いします。

問い合わせ先 総務課 庶務防災グループ